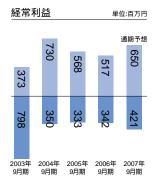
第 2 期中間 事業のご報告

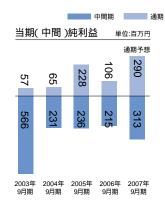


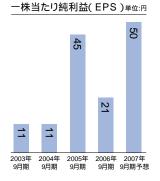


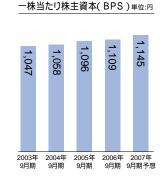
株式会社ACKグリループ

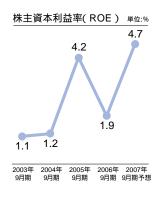














#### CONTENTS

財務ハイライト	•
ご挨拶	2
当中間期の概況	(
通期の見通しと取り組み	4
ACKグループこれまでの軌跡 ······	Ę
コーポレート・ガバナンス(企業統治)	6

グループ会社の紹介	7
特集 オリエンタルコンサルタンツ創立50年	9
トピックス	10
連結財務諸表 ·····	1 1
株式の概況	13
会社概要	14

株主、投資家、お客様、社員とそのご家族をはじめとする 当社グループを支えてくださっている関係者の皆様へ



株主、投資家、お客様、社員とそのご家族をはじめとする当社グループを支えてくださっている関係者の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに第2期の中間事業報告「ACKG Business Report」をお届けするにあたり、皆様の日頃のご支援とご協力に対し、厚く御礼申し上げます。

当社グループを取り巻く環境におきましては、引き続き公共投資関連が低調であり厳しい受注環境にあるものの、民間設備投資が回復傾向にあり、新規分野におけるビジネスチャンスは広がっております。

このような中、今期の現時点において、新たに3社をグループに迎え、事業内容も「社会資本整備」だけにとどまらず、防災、リスク管理、社会福祉、教育・人材育成、企業経営、環境問題など多様な市場においてグローバルなコンサルタント・ビジネスを展開しております。

私たちは「世界の人々の豊かな暮らしと夢の創造」を企業理念とし、ワンストップでサービスを提供するグローバル企業を目指し、「無限大へのチャレンジ精神」で全社員が一丸となって邁進してまいります。

今後も経営計画「ACKG ONE」の基本戦略である「事業拡大」、「機能・能力強化」、「経営基盤強化」に基づき行動し、社会的貢献と企業価値の最大化を目指してまいります。

当社グループを支えてくださっている関係者の皆様には、今後ともより一層の ご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

株式会社ACKグループ 代表取締役

廣谷彰彦

#### PROFTLE

1945年生まれ、東京都出身。

1968年3月に日本大学理工学部を卒業後、同年4月(株)オリエンタルコンサルタンツ入社。1995年取締役国際事業部長兼社長室長、1997年常務取締役営業本部長兼国際事業部長、1999年取締役専務役員営業本部長を経て、2001年2月に代表取締役社長に就任。2006年8月(株)ACKグルーブ代表取締役社長に就任。2006年8月(株)ACKグルーブ代表取締役社長に就任。(社)土木学会建設マネジベト委員会委員長(社)建設コンサルティツが、国会会長、国際コンサルティング・エンジニヤ連盟(FIDIC)アジア太平洋会議議長、(社)日本コンサルティング・エンジニヤ協会会長、(社)日本道路協会常務理事、(財)バーフロント整備センター理事(社)海外建設協会理事(社)日本技術士会APECエンジニアモニタリング委員会委員、(財)港湾空港技術サービスセンター理事(財)大不研究センター理事(財)大不研究センター理事(財)大不研究センター理事(財)大不研究センター理事(財)大不研究センター理事(財)大不研究センター理事の多数。

## 当中間期の概況

我々を取り巻く経営環境が大きく変化するなか、安定経営と着実な利益創出を目指し、事業の拡大、多様な事業展開による経営の多角化、シナジーによる実績を上げてきました。

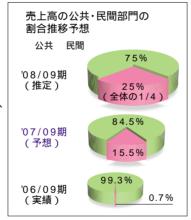
#### 多様な事業展開による経営の多角化

当期の現時点においては、大成基礎設計(株) 吉井システムリサーチ(株)(株)総合環境テクノロジーの3社が新たにグループに加わりました。

#### 民間市場への新たな事業展開

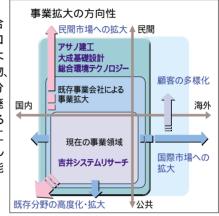
大成基礎設計(株)は、地質・土質調査、環境浄化、構造物調査を主力とし、民間部門への売上高が70%を占めるなどの特徴があります。前期に子会社化した(株)アサノ建工(民間売上高:86%)を含めると、当社グループの民間部門への

売上高は通期で15.5%に拡大することが予想され、来の1になると推定していると推定しています。このようにはます。このように、拡型のの第一条にはをである。この多角化を図り、ともに経りでは、変していきます。



#### 顧客ネットワーク、技術のシナジーによる事業拡大

吉井システムリサーチ(株)の参加により「知的サービス分野」の事業領域強化、「建設分野」におけるワンストップサービスの高度化、「販売・リース分野」へさらなる拡大をしました。吉井システムリサーチ(株)が保有するシステム開発力や豊富な販売実績・ネットワークは、当社グループの多様なノウハウや開発アイデアの商品化、販路拡大に大きく寄



#### 経営資源の共有化によるシナジーの発揮

M&Aによってグループ規模が拡大するなか、既存・新規事業会社の連携と積極的な協力により円滑なグループ運営を行っています。また、経営資源の共有化を図ることでシナジーを発揮し、これまでよりもさらに高度な技術提案が可能となりました。その結果、提案力・技術力・実績等で評価される「プロポーザル方式」において大型案件を受注するなど受注機会が増加しつつあります。

#### 当中間期の業績

当中間連結会計期間における受注高は84億37百万円(前年同期比9.1%増)、売上高は76億56百万円(同14.0%増)となりました。受注残高も138億31百万円(同29.1%増)となり、全体の企業規模が拡大しています。利益については、当社グループ売上高の季節変動特性により中間連結会計期間は赤字となる特徴があります。当中間期は企業規模の拡大によりその赤字幅は大きく、経常損失が4億21百万円(前年同期は3億42百万円の経常損失)、中間純損失は3億13百万円(同2億15百万円の中間純損失)となりましたが、通期の利益は大幅な増加を予想しています。



## 通期の見通しと取り組み

ACKグループが継続的に成長・拡大していくための基本戦略である「事業拡大」、「機能・能力強化」、「経営基盤強化」に積極的に取り組み、他の追随を許さない強い企業グループを目指していきます。

#### さらなる事業拡大と経営基盤の強化

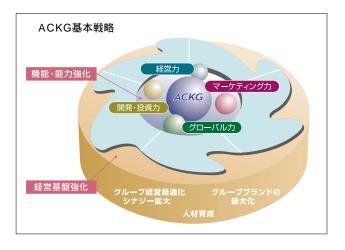
基本戦略に基づき、収益性の向上とコンプライアンスの強化を図るため「価格競争」による受注から「技術競争」による受注へと転換を図ってきました。(株)オリエンタルコンサルタンツにおいては、プロポーザル特定率は業界大手のトップを維持しており、シナジーの早期発現によって今後も順調に推移するものと見込んでいます。今後のさらなる事業拡大を図るために優秀な人材を積極的に採用し、経営基盤の強化によって業務の効率化、品質の向上を図ることで顧客満足度の向上、安定した利益の創出を目指していきます。また、国際市場への更なる拡大に向けて「国際企画室」を設置し、世界トップレベルの企業を目指したグループ全体の海外戦略を展開しています。

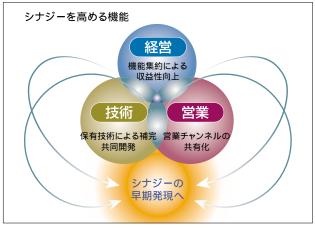
機能・能力強化によるシナジーの拡大シナジーをより一層高め、さらなる拡大を図るため「経営」、「営

業」、「技術」の機能・能力強化を推進しています。昨年11月に立ち上げた「ACKグループシナジーワーキング」では、プロジェクトチームを結成し、今期からの受注を目標としたアクションプログラムを策定しました。また、新規事業の創出や市場拡大を目指し、大成基礎設計(株)の技術研究所をグループにおける技術開発の中心として知の結集を図り、新たな知の創造に取り組んでいきます。

#### 通期の業績見通し

これらを踏まえ、当連結会計年度の業績は既存会社の好調な 受注及び新規連結子会社の業績が寄与したことにより、売上 高225億円(前年同期比31.1%増)経常利益6億50百万円(同 25.5%増)当期純利益2億90百万円(同171.1%増)と大幅 な増加を見込んでいます。





## ACKグループこれまでの軌跡





(株)オリエンタルコンサルタンツ創立

当時はPC構造物が設計できる唯一のコンサルタントとして創業

## コーポレート・ガバナンス(企業統治)

#### コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社グループは、「世界の人々の豊かなくらしと夢の創造 ~ サービス領域無限大へのチャレンジ ~ 」の理念のもと、株主、投資家、お客様、社員とその家族など関係する全ての人々を永続的に満足させるべく、経営の透明性や効率性、企業の健全性を確保し、コーポレート・ガバナンスを有効に機能させることを基本方針としております。その実現のため、意思決定及び業務執行の迅速化を目指すとともに、コンプライアンスの徹底を含む内部統制の強化を図ってまいります。

#### コーポレート・ガバナンスの概要

#### 会社の機関の内容

当社は、取締役会、監査役会を設置し、原則として毎月1回それぞれ開催しております。また、内部情報に精通した常勤監査役と専門性があり、見識が高い外部監査役により構成された監査役会の監査により、業務遂行の適法性、妥当性を確保しております。

#### 内部統制システムの整備状況

当社の内部統制システムは「内部統制規則」、「関係会社管理規則」及び関連規定・細則等によって体系化しております。グループ各社に対しては統括管理本部長を責任者として、グループ経営会議を定期的に開催し、情報の共有化、業務執行状況の監督を行っております。当社の監査役及び監査室は、当社の業務執行を監査

するほか、グループ各社の監査役、監査室と連携し、経営上重要な事項について全般的な管理を行っております。

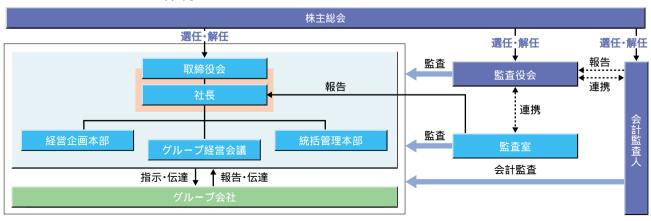
#### リスク管理体制の整備

経営基盤の強化、維持、向上を目的として、統括管理本部長はグループ各社から定期的にリスク管理状況の報告を受け、外部機関と相談し、迅速かつ的確に処理しております。また、統括管理本部長を責任者としてコンプライアンスに努めております。

#### 会計監査

会計監査を監査法人トーマツに依頼しております。

#### コーポレート・ガバナンス体制



## グループ会社の紹介

株式会社ACKグループは、グループ全体の経営戦略を策定するとともに、事業の統括・管理を行っております。

株式会社オリエンタルコンサルタンツ 株式会社ワールド 株式会社中央設計技術研究所

株式会社総合環境テクノロジー

株式会社オリエスセンター

株式会社オリエス総合研究所

株式会社オリエスシェアードサービス

株式会社アサノ建工

大成基礎設計株式会社

株式会社国土情報技術研究所

ACKG マネジメント・ハブ

株式会社オリエス交通情報サービス

吉井システムリサーチ株式会社



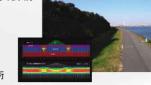
## \*式会社 オリエンタルコンサルタンツ

社会基盤整備に関する事業をはじめ、 高度化、多様化する社会のニーズに 応じた知的サービス、グローバルなコ ンサルティングの提供 等



### **5 大成基礎設計株式会社**

地質·土質調査、環境·環境浄化、構 造物調査 等



地盤変形解析・地下水解析の技術



#### ⚠ 株式会社 アサノ建工

さく井工事、地質・土壌調査、解体工事、 温泉工事 等



さく井工事

## **紫中央設計技術研究所**

上下水道、廃棄物、環境、情報に関す る調査・計画・設計、維持・運営マネジ メント等



資材の再利用可能なステンレス配水池







#### 株式会社 ワールド

測量、写真測量、統合型WebGIS、土木 建設コンサルタント、補償コンサルタント、 地質調查 等



航空レーザー計測

## YSR 吉井システムリサーチ株式会社 Yoshii System Research. co., ltd.

建設マネジメント、計測制御、資産管理 等に関する多様なITソリューションの 提供 等



丁事丁種体系精質システム 明積-V



### 株式会社 オリエスセンター

建設に関する調査、設計、監理、PM/ CM、技術教育·指導等



丁事マネジメント

#### 株式会社

#### 国土情報技術研究所

地球観測データに関する事業、建設分 野における先端技術・情報化事業、計 測技術をベースにしたST事業 等



衛星データによる街路樹活力度調査



### 株式会社オリエス総合研究所

経営マネジメント(財務・品質等)、システ ム保守管理、ソフトウェアの受託開発等



企業経営セミナーの開催



#### <sub>株式会社</sub> オリエス交通情報サービス

交通データの観測・解析、交通観測機 器の販売・レンタル 等



可搬型ナンバー読み取り装置「OC-i」システム



#### ❤️株式会社 総合環境テクノロジー

廃棄物処理、リサイクル、エネルギー などを対象とした環境ソリューションの 提供 等



一般廃棄物最終処分場の設計



## 株式会社オリエスシェアードサービス

「人材」および「業務プロセス」に関わ るアウトソーシング、リソースマネジメント、 人材派遣・紹介などの各種ソリューション サービス 等



人材マネジメントコンサルティング

## 特集 オリエンタルコンサルタンツ創立50年

# 「帰宅経路調査」による災害時帰宅困難者問題の対策支援/社会貢献事業/渋谷区共催



都市型大規模地震の重要課題の一つに、震災時の「帰宅困難者」の問題があります。同問題に対しては、公的機関による働きかけや、事業所における自助努力等が開始されていますが、ターミナル駅の混乱防止対策や二次災害のおそれ等、取るべき対

策が追いついていません。そこで当社は、50周年記念社会貢献事業の一環として「渋谷帰宅困難者問題研究会(事務局:(株)オリエンタルコンサルタンツ)」を発足し、官民一体による「帰宅経路調査」をコンサルタンツ業界で初めて企画しました。本年6月、渋谷区、東京商工会議所渋谷支部の共催のもと調査を実施し調査結果を関係機関へ提供する予定です。

## オリエンタルコンサルタンツ 50年の歩み / 1957年12月創立



創立当時はPC構造物が設計できる唯一のコンサルタント

◆名神高速 愛知川橋 (日本初のPC3径間連続合成桁)



業務分野を拡大し、 総合コンサルタントへ

> ■福島西道路環境整備 (土木学会技術賞受賞)

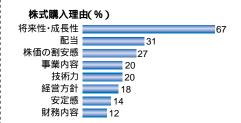


グローバルなコンサルタント ビジネスの展開

> ◀第2メコン国際橋建設 プロジェクト(ラオス、タイ)

#### アンケート集計結果のご報告(n:51)

「第1期事業のご報告」のアンケートにご回答頂き、ありがとうございました。



#### 弊社に対して望むこと(%)



#### 自由意見

今後の成長も期待しています。 コンプライアンスを守り、社会 的責任を果たしつつ企業の価値 を高めていってもらいたい。

今後も経営基盤の強化と長期安定的な利益還元を図るとともに、戦略的な事業展開により企業価値を高めてまいります。

これからもなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## トピックス

#### ● 韓国の橋梁デザイン・設計コンペにて最優秀賞を受賞 / (株)オリエンタルコンサルタンツ



オリエンタルコンサルタンツはOC杉山デザイン研究所、惟信(韓国のコンサルタント会社)などで構成するコンソーシアムで「韓国仁川市・松島新都市橋梁設計コンペ」に参加し、5つの企業グループが応募する中、最優秀賞に選ばれました。松島新都市は仁川国際空港近くにある海上都市で、本コンペは国際都市にふさわしい象徴的な橋梁で観光名所として役立てることをコンセプトに行われました。橋長300メートル、168メートルの車道橋2橋と橋長40メートルの歩道橋の合計3橋が設計対象となっており、基本設計額は約15億ウォンです。

#### ● 国土地理院の基盤地図情報作成業務を受注 / ( 株 )ワールド



基盤地図情報整備計画に基づき、日本全国を対象に空中写真撮影を行うとともにレーザー測量によるデジタル3次元化処理をした画像の整備を行う事業の本年度発注業務を受注しました。本業務は今年度より3ヶ年計画で予算18億円が計上されており、引き続き受注が期待できます。今回、整備される基盤地図が全国の各省庁、都道府県、市町村の骨格基盤地図として利活用が図られることも大きな特徴と言えます。ワールドは初年度発注業務10地区のうち、西日本エリアの3地区(大阪、大分、新宮・土佐清水 を受注しました。

#### ● 能登半島地震緊急調査支援活動を実施( CSR活動への取り組み )/( 株 )中央設計技術研究所



平成19年3月25日に発生した震度6強の能登半島地震は、水道や下水道などのライフラインに大きな被害を与え、特に震源に近い輪島市では、その被災状況は深刻を極めていました。石川県に本社を置く中央設計技術研究所では、いち早く社内に地震対策本部を設置するとともに、現地に技術者を派遣して、水道及び下水道の早期復旧に向けた緊急調査のボランティア活動を行いました。地域密着型の活動が結実し、初動対応から、予備調査指導、一次調査指導、二次調査指導、本復旧支援と、効果的で即時的な活動支援が実現できました。これらの経験は、今後、更にマニュアル作成などに生かされます。

## 連結財務諸表

#### 中間連結貸借対照表(要旨)

単位:千円

	科目	ACKG第2期中間 平成19年3月31日現在	OC第49期中間 平成18年3月31日現在	ACKG第1期 平成18年9月30日現在
		【資産の部】		
	流動資産	14,228,391	9,824,332	7,126,420
	現金及び預金	2,652,495	1,448,212	2,435,817
	受取手形及び 完成業務未収入金	5,433,455	3,989,918	2,008,179
	未成業務支出金	5,551,755	3,807,430	2,269,187
	その他	590,686	578,770	413,236
	固定資産	4,802,431	2,541,191	2,759,075
	有形固定資産	2,689,301	1,190,955	1,181,797
	建物及び構築物	1,040,044	383,111	383,805
	土地	1,149,471	363,253	364,821
	その他	499,785	444,591	433,170
	無形固定資産	623,487	501,437	661,101
	投資その他の資産	1,489,642	848,798	916,176
	資産合計	19,030,823	12,365,524	9,885,496

ポイント: 大成基礎設計(株)保有の本社ビル等の土地建物が増加

いたしました。

ポイント: 新規連結子会社取得の影響により、資産、負債が大幅に増

加しております。

ポイント: 規模拡大により運転資金が増加しております。ただし、例年

どおり4月の売上代金回収により、全額返済しております。

ポイント: 株式交換に伴う新株発行により増加しております。

単位:千円

			+12.113
科目	ACKG第2期中間	OC第49期中間 平成18年3月31日現在	ACKG第1期
	【負債の部】	<b>一成10年3月31日</b> 死止	TM1049/30UML
流動負債	11,759,979	6,567,597	3,703,005
支払手形及び業務未払金	2,073,719	1,194,937	925,224
短期借入金	5,442,334	2,450,000	-
未成業務受入金	2,753,717	2,025,896	1,573,260
その他	1,490,208	896,763	1,204,520
固定負債	1,349,792	353,065	392,964
負債合計	13,109,772	6,920,662	4,095,970
【少数	枚株主持分の	部】	
少数株主持分	-	266,344	-
	【資本の部】		
資本金	-	500,950	-
資本剰余金	-	261,450	-
利益剰余金	-	4,487,433	-
その他有価証券評価差額金	-	23,325	-
自己株式	-	94,642	-
資本合計	-	5,178,517	-
負債、少数株主持分及び資本合計	-	12,365,524	-
	純資産の部】		
資本金	502,706	-	500,950
資本剰余金	780,793	-	261,450
利益剰余金	4,433,202		4,808,653
自己株式	90,606	-	90,564
その他有価証券評価差額金	23,036	-	20,193
少数株主持分	271,919	-	288,842
純資産合計	5,921,050	-	5,789,525
負債純資産合計	19,030,823	-	9,885,496



注:OC第49期中間は、株 オリエンタルコンサルタンツ(OC)の実績であります。

#### 中間連結損益計算書(要旨)

単位:千円

科目	ACKG第2期中間 自平成18年10月1日 至平成19年3月31日	OC第49期中間 自平成17年10月1日 至平成18年3月31日	ACKG第1期 自平成17年10月1日 至平成18年9月30日
売上高	7,656,695	6,715,931	17,167,264
売上原価	5,626,185	4,823,810	11,959,420
売上総利益	2,030,510	1,892,121	5,207,843
販売費及び一般管理費	2,467,014	2,254,388	4,706,141
営業利益又は営業損失()	436,504	362,267	501,701
営業外収益	36,373	36,695	51,371
営業外費用	21,668	17,006	35,106
経常利益又は経常損失()	421,800	342,578	517,966
特別利益	-	1,915	2,104
特別損失	44,819	20,270	110,385
税金等調整前中間純損失( 又は税金等調整前当期純利益	466,619	360,933	409,685
中間純損失()又は当期純利益	313,460	215,350	106,983

ポイント: (株)オリエンタルコンサルタンツ、(株)ワールド等既存会社の売上が

増加しております。また、新規連結子会社の売上高が寄与しております。

ポイント: グループ規模の拡大に伴い、中間純損失が拡大しております。一方で 通期の当期純利益は拡大の見込みであります。(季節変動特性の拡大)

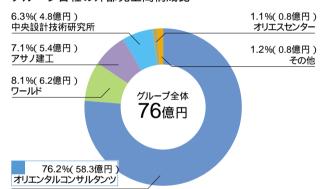
ポイント (株)オリエンタルコンサルタンツへの依存度が抑制されました。

#### 中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位:千円

科目	ACKG第2期中間 自平成18年10月1日 至平成19年3月31日	OC第49期中間 自平成17年10月1日 至平成18年3月31日	ACKG第1期 自平成17年10月1日 至平成18年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,656,706	3,001,522	690,857
投資活動によるキャッシュ・フロー	162,041	163,123	419,525
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,015,063	2,364,250	82,786
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,122	1,190	2,525
現金及び現金同等物の増減()額	195,192	801,586	186,020
現金及び現金同等物の期首残高	2,437,340	2,251,319	2,251,319
現金及び現金同等物の期末残高	2,632,533	1,449,733	2,437,340

#### グループ各社の外部売上高構成比



中間連結株主資本等変動計算書 自平成18年10

自 平成18年10月1日 至 平成19年3月31日

単位:千円

	株 主 資 本			評価・換	算差額等				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価·換算差額 等合計	少数株主持分	純資産合計
平成18年9月30日残高	500,950	261,450	4,808,653	90,564	5,480,488	20,193	20,193	288,842	5,789,525
中間連結会計期間中の変動額									
新株の発行	1,756	1,749	-	-	3,505	-	-	-	3,505
剰余金の配当	-	-	61,991	-	61,991	-	-	-	61,991
中間純損失	-	-	313,460	-	313,460	-	-	-	313,460
自己株式の取得	-	-	-	42	42	-	-	-	42
株式交換	-	517,594	-	-	517,594	-	-	-	517,594
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	2,842	2,842	16,923	14,080
中間連結会計期間中の変動額合計	1,756	519,343	375,451	42	145,605	2,842	2,842	16,923	131,525
平成19年3月31日残高	502,706	780,793	4,433,202	90,606	5,626,094	23,036	23,036	271,919	5,921,050

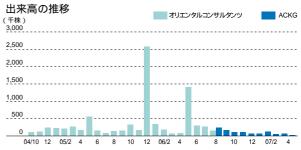
## 株式の概況 (平成19年3月31日現在)

————————————————— 発行可能株式総数	20,000,000 株
 発行済株式の総数	5,838,420 株
株主数	1,686 名

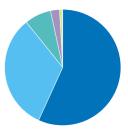
#### 大株主

八怀工				
<b>性</b> 十夕	当社への出資状況			
株主名 	持株数(株)	持株比率(%)		
ACKグループ社員持株会	614,720	10.5		
日本トラステイ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	248,000	4.2		
資産管理サービス信託銀行株式会社 (金銭信託課税口)	246,000	4.2		
株式会社三井住友銀行	223,600	3.8		
オリエンタル建設株式会社	193,960	3.3		
株式会社三菱東京UFJ銀行	191,250	3.2		
第一生命保険相互会社	184,000	3.1		
日本生命保険相互会社	178,800	3.0		
明治安田生命保険相互会社	155,000	2.6		
三井生命保険株式会社	147,250	2.5		
清野 茂次	141,000	2.4		
株式会社オリエンタルコンサルタンツ	132,720	2.2		
竹田 和平	129,500	2.2		



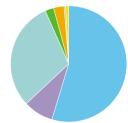


株主構成比率	
個人	56.8%
金融機関	32.4%
その他国内法人	7.4%
外国人	2.5%
証券会社	0.7%
その他	0.2%



#### 持株数別株主比率

`	71/N XX //)1/N \LU <del>'\'</del>			
	1単元以上5単元未満	5	4.5%	
	5単元以上10単元未満		8.4%	
	10単元以上50単元未満	3	0.3%	
	50単元以上100単元未満		2.5%	
	100単元以上500単元未満		2.9%	
	500単元以上1,000単元未満	i	0.4%	
	1,000単元以上		1.0%	





## ORPORATE DATA

## 会社概要

商 号 株式会社ACKグループ

所 在 地 東京都渋谷区南平台町16-28 グラスシティ渋谷

資 本 金 502,706千円 2007年3月31日現在

設 立 2006年8月28日

取 引 銀 行 三井住友銀行

三菱東京UFJ銀行 中央三井信託銀行 伊予銀行

北國銀行

従業員数 1,159名(連結)2007年3月31日現在

代表取締役 廣谷 彰彦

取締役長尾千歳

千葉 俊彦

監 査 役 森下 昭吾(常勤)

国松 英二

岸 和正

#### グループ会社 2007年5月31日現在

(株) オリエンタルコンサルタンツ 〒150-0036 東京都渋谷区南平台町16番28号 グラスシティ渋谷 Tel 03-6311-7551(代) Fax 03-6311-8011

大成基礎設計(株) 〒113-0022 東京都文京区千駄木3丁目43番3号 千駄木ビル Tel 03-5832-7181(代) Fax 03-5832-7411

(株)アサノ建工 〒110-0015 東京都台東区東上野1丁目28番9号 キクヤビル Tel 03-5688-1525(代) Fax 03-5688-1560

(株)中央設計技術研究所 〒920-0031 石川県金沢市広岡2丁目13番37号 ST金沢ピル

株 )中央設計技術研究所 1920-0031 石川宗金川市広岡2 1日13省37号 31金川に加 Tel 076-263-6464(代)Fax 076-263-6922

(株 )ワールド 〒660-0861 兵庫県尼崎市御園町24番地 尼崎第一ビル Tel 06-4869-3321(代 ) Fax 06-4869-3320

吉井システムリサーチ(株) 〒812-0036 福岡県福岡市博多区上呉服町12番33号 Tel 092-281-5729(代) Fax 092-281-5744

(株) オリエスセンター 〒150-0036 東京都渋谷区南平台町16番28号 グラスシティ渋谷 Tel 03-6311-8151(代) Fax 03-6311-8155

(株)国土情報技術研究所 〒150-0036 東京都渋谷区南平台町16番28号 グラスシティ渋谷 Tal 03 6344 8354 (株) Fay 03 6344 8355

Tel 03-6311-8351(代) Fax 03-6311-8355

(株) オリエス総合研究所 〒150-0036 東京都渋谷区南平台町16番28号 グラスシティ渋谷 Tel 03-6311-8251(代) Fax 03-6311-8257

(株)オリエス交通情報サービス 〒150-0036 東京都渋谷区南平台町16番28号 グラスシティ渋谷

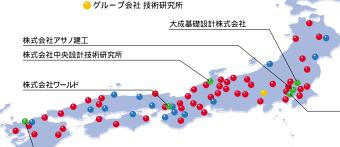
Tel 03-6311-8451(代) Fax 03-6311-8455 (株)総合環境テクノロジー 〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西7丁目1番15号 あおいビル

Tel 011-221-6511( 代 ) Fax 011-221-6513

(株 ) オリエスシェアードサービス 〒150-0036 東京都渋谷区南平台町16番28号 グラスシティ渋谷 Tel 03-6311-8651(代) Fax 03-6311-8012

株式会社総合環境テクノロジ

- ACKG / グループ会社本社
- ●グループ会社 事務所・営業所
- サフルーノ云社 事物別・昌耒



株式会社ACKグループ 株式会社オリエンタルコンサルタンツ 株式会社オリエスセンター 株式会社オリエス総合研究所 株式会社国土情報技術研究所 株式会社オリエス交通情報サービス 株式会社オリエスシェアードサービス

14

吉井システムリサーチ株式会社

#### ホームページ

当社は株主の皆様に必要なIR情報をホームページで公開しています。

## http://www.ackg.jp



#### IRに関するお問合せ先

TEL: 03-6311-6641

FAX: 03-6311-6642

メールアドレス:ir-ackg@ackg.jp

#### 株主メモ

事業年度の最終日 9月30日

定時株主総会 12月

9月30日

その他必要がある時は、取締役会の決議をもって予め公告

いたします。

上場証券取引所 ジャスダック

銘柄略称 **ACKG** 

証券コード 2498

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号(〒105-8574)

中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱所 東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063) (ご連絡先)

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

0120(78)2031(フリーダイヤル)

次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店

日本証券代行株式会社 本店·全国各支店

雷子公告 載

> ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告に よることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。

#### お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取、株券失効制度による株券の再発行、名義書換請求、 配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120(87) 2031で24時間受付しております。





